



10月 えんだより

ともしび保育園 10月1日発行



『みんなで子育て』

保護者の皆さん、毎日の送迎、育児、家事、仕事との両立、本当にお疲れ様です。今回園だよりの巻頭文を担当するにあたって「何を書こうかな」と悩んでいた時に、数年前の園だよりで同僚の保育士が1冊の本を紹介していたことを思い出しました。

「あなたのことが だいすき」

西原 理恵子 著 / (株)KADOKAWA



この本に『たいへんなのは いまだけよ っていうけど 「いま」をなんとかしてほしいの』というフレーズがあります。

私は当時このフレーズを見た時に涙が出たのを覚えています。

当時私は、職場復帰をしながら2人の保育園児の子育ての真っ最中でした。子どもたちを保育園へ送り、職場に行くという簡単なことが思った通りにはいかず、朝から怒ったり、泣いたりの一苦勞。お迎えの後も毎日時間との戦いで「これでいいのかな」と自問自答する日々でした。

数年後の今、久しぶりにこのフレーズを見た時にまた涙が出ました。今回の涙は「あの時は本当に大変だったな」「あの時の私、頑張っていたな」という気持ちからの涙でした。そして振り返った時にそこにはいろいろな人に支えられ、助けてもらい、時には甘えたり、話を聞いてもらったり…そんな周りのサポートのおかげで今があることを感じています。

先日、ともしび保育園の地域活動で子育て講座をおこない、講師の先生をお招きして、日ごろの子育ての悩みや日々感じている思いなどをみんなでお話する機会を設けました。講師の伊藤美代子先生は、「子育ては、1人でするのではないんですよ。」と優しく保護者の方にお話されました。それを聞いて保護者の方同士で「そうだよ」「みんなで子育てしていけばいいんだよ」とお互いに励まし合う場面も見られました。それは、同じ子育てをする方々が自然と繋がっていったようで、とても素敵な場であったなと思いました。

最後に、たくさんの人に頼って、支え合いながら大切な子どもたちを共に育てていきましょう、と伝えてくださいました。思わず、涙される保護者の方もいらっしゃいましたが、我が子を本当に大切に思う温かい気持ち、だからこそ悩んで苦しくなる気持ちを強く感じました。

毎日の子育ての中で、子どもはかわいいけれど保護者の皆さまも時には泣きたくなくらい大変なこともあるかと思えます。そんな時にはぜひ私たちに話をしてみてくださいませんか。保育園は、いつでも保護者の皆さんの子育てをサポートさせていただく場でありたいと思っています。『みんなで子育て』をしながら、保護者の皆さんが少しでも心地良く、前向きな気持ちで子育てを楽しむことができますよう、願っています。

皆藤 美穂

